

# センター試験「倫理，政治・経済」

数研出版編集部

## ■2012年度センター試験の概況

2012年度センター試験において、新科目「倫理，政治・経済」の試験が実施されました。大学入試センターの公表値によると、受験者数は49,601人で、平均点は67.14点でした。一方、従来の公民3科目については、「現代社会」の72,273人減をはじめ、受験者数は軒並み減少しており、平均点も「現代社会」では9.66点低下しました。なお、地歴B科目の受験者数は3科目すべてで増加しており、とくに「地理B」の18,759人増が目立ちました。

	受験者数		平均点	
	2011	2012	2011	2012
現社	177,843	105,570	61.76	52.10
倫理	58,278	35,537	69.42	69.01
政経	88,758	57,224	58.97	57.99
倫，政	-	49,601	-	67.14
世史B	88,303	91,139	61.46	60.93
日史B	152,970	157,372	64.11	67.92
地理B	113,769	132,528	66.40	62.16

この結果から、従来の公民3科目(とくに「現代社会」)の成績上位層が、「倫理，政治・経済」や地歴B科目の受験にシフトしたことが推測できます。また、2科目を1試験時間内で実施するという試験方式への変更にともない、受験した2科目のうち得点の高い方を採用する方式に代わって、「第一解答科目」を採用する方式が主流となったため、公民科とくに「現代社会」を“保険”として受験する意味が薄まったということも、従来の公民3科目の受験者数減少の背景にあると考えられます。

## ■「倫理，政治・経済」の出題内容

「倫理，政治・経済」の出題内容は、下の表のようになりました。大問数は、「倫理」分野3題(小問数19問)、「政治・経済」分野3題(小問数20問)で、配点も50点ずつでした。すべての小問が、単独科目「倫理」，「政治・経済」それぞれから流用されており、2科目の内容を融合させたような独自の問題は出題されませんでした。

	出題分野	単独科目「倫理」，「政治・経済」との対応
第1問	「倫理」(源流思想・日本思想)	・リード文は「倫理」第2問と同様 ・小問は「倫理」第2問・第3問から流用
第2問	「倫理」(西洋近現代思想・現代社会の諸課題)	・リード文は「倫理」第4問と同様 ・小問は「倫理」第4問・第5問から流用
第3問	「倫理」(青年期・日本思想・現代社会の諸課題)	・リード文なし ・小問は「倫理」第1問・第3問・第5問から流用
第4問	「政治・経済」(政治・国際政治・経済)	・リード文はオリジナル ・小問は「政治・経済」第1問・第2問・第5問から流用
第5問	「政治・経済」(経済・国際経済)	・リード文，小問とも「政治・経済」第3問と同様
第6問	「政治・経済」(政治)	・リード文，小問とも「政治・経済」第4問と同様

また、注目すべきは、単独科目「倫理」、「政治・経済」の大問のうち、一部でも流用されていない大問はないという点です。つまり、「倫理、政治・経済」の問題は、単独科目「倫理」、「政治・経済」から特定の分野を選んで出題されているのではなく、それぞれの科目の全分野からまんべんなく出題されているということです。さらに、「倫理」に特有である文献資料の読解問題やリード文の趣旨判別問題、「政治・経済」に特有であるグラフ・図表の読み取り問題なども出題されています。これらの傾向は、後日実施された追試験の内容についても同様でした。

以上のことを踏まえると、4単位科目「倫理、政治・経済」は、2単位科目「倫理」、「政治・経済」の内容を純粹に積み上げたものであると考えられます。すなわち、「倫理」分野、「政治・経済」分野ともに十分な準備を行っておかなければ、高得点を狙うことは難しく、それぞれの科目についての網羅的かつ深い内容理解をともなった学習が求められるということがいえます。そのためには、にわか仕込みの対策ではなく、まずは「倫理」、「政治・経済」それぞれの教科書や問題集で基本的な知識をしっかりと

とおさえ、センター試験の過去問やより実践的な問題集を活用することで、本番に向けた思考力や読解力を養うが必要になるといえます。

### ■「倫理、政治・経済」の今後

新学習指導要領に対応したセンター試験において、「倫理、政治・経済」が出題科目とされるかどうかは、昨年12月に大学入試センターより発表された「平成21年告示高等学校学習指導要領に対応した平成28年度大学入試センター試験からの出題教科・科目等について(中間まとめ)」において、「平成24年度大学入試センター試験から導入した「倫理、政治・経済」については、さらに検討する」という表現にとどめられています。(2012年4月1日現在)

来年4月からは、いよいよ地歴・公民科においても新学習指導要領が実施されます。「倫理、政治・経済」の行く末については、近いうちに発表があると思われていますが、その上で、公民3科目の授業内容を、新しいカリキュラムのなかでどのように組み立てるかということも重要になるのではないのでしょうか。



センター試験  
「倫理、政治・経済」対策  
にも最適!!

日常学習の確認からセンター試験対策まで導く頼りになる演習問題集!

## 4ステージ演習ノートシリーズ

### ■用語チェックからセンター試験対策まで4つのステージで構成

- ・「Points」… 重要事項の整理
- ・「Stage A」… 一問一答で重要用語の確認
- ・「Stage B」… 数多くの演習問題で日常学習、定期試験対策
- ・「Stage C」… センター試験過去問でセンター試験対策
- ・「Stage D」… 発展演習で学習内容の総仕上げ

### ■シリーズ一覧(現行課程用)

	書籍No.	判型	頁数		税込定価
			本冊	解答	
現代社会	30102	B5判	144頁	40頁	740円
倫理	30561	B5判	128頁	48頁	740円
政治・経済	30551	B5判	128頁	32頁	720円

※ 新課程用「現代社会」は2012年秋発行予定。「倫理」「政治・経済」も順次発行予定。